

令和5年度〔自己評価報告書〕

学校番号	学校名	校長名
80	川崎市立白幡台小学校	田村 光司

学校教育目標	今年度の重点目標	
<p>「心身ともにたくましく、自ら学ぶ子どもの育成」</p> <p>大切な自分、大切な人に気付き、自立する児童を育てる</p> <p>(知) しっかり学ぶ……確かな学力を培う教育の推進                      (徳) ゆったりかまえる……思いやりの心を育み、豊かな人間性の育成の推進                      (体) たっぷりうごく……健康・安全教育の推進</p>	<p><b>しっかり学ぶ</b>                      (1)楽しく学べる学校                      (2)きれいな学校</p> <p><b>ゆったりかまえる・たっぷりうごく</b>                      (3)元気で明るい学校                      (4)保護者や地域と力を合わせる学校                      上記の4観点を受け                      「子ども達により学習習慣と生活習慣を」                      を重点テーマに据える。</p>	<p>(1)基礎基本の定着を図る。                      →学習意欲を伴った学力を伸ばす                      (2)学習環境づくり                      →UDに配慮した教室・安全面の配慮                      (3)児童支援の充実・安全安心の確保                      →キャリア在り方生き方教育・SOSの出し方                      受け止め方教育の推進                      (4)PTA・地域との協力                      →コミュニティスクール開設・寺子屋事業との                      より一層の連携</p>

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
1	<p>しっかり学ぶ (1)楽しく学べる学校</p> <p>★学習意欲を伴った学力を伸ばす(児童)                      ○学習指導要領に沿った白幡台小学校の児童にあったカリキュラム(白幡台プラン)の実践・検証・再編成を継続する。</p> <p>○学年、低中高学年部会、校内での協力体制や授業形態の工夫、モジュール学習時間の充実を図る。                      ○コーディネーターを中心にして、学習支援を工夫、計画的に実施し、わかったできたという実感を伴った学習をさらに目指す。</p> <p>★指導力の向上(教員)                      ○「教える」から「ファシリテートする」授業へ指導の改善を継続する。                      ○校内研究主任を設置し、校内研究授業を実施する。全学年の授業をお互いに公開し、外部講師を招いて研修を図る。</p>	<p>継続して児童が「わかった・できた」という達成感や成就感を大切にしてきた成果がアンケート結果からも見え始めた。児童の結果と保護者の結果の温度差も少なくなり、保護者の理解も進められたと感じる。</p> <p>専科教員による授業を展開したり、学年に応じて授業形態の工夫を実施したりすることを強化している。専科教員の指導が系統立てて行われる良さがカリキュラムマネジメントされ、学びの連続性として位置づいている。</p> <p>一方で、取り出し指導においては、担当する教員の確保が困難をきわめている</p> <p>校内研究として国語科を中心に全職員による共同研究を継続実施した。お互いの授業を公開し、外部講師を招いて協議を重ねてきたことが各担任の指導力の向上に通じている。</p>	<p>授業で分かったと感じる児童も多いが、学習の定着という視点からは課題が残るので、家庭との連携を継続して行いながら、意欲をもって学習に取り組むことができるような学習習慣の定着を図っていく。</p> <p>専科教員をはじめ級外職員が、学級担任からの要請で学級に入り込んでのサポート体制を確立しつつある。児童一人一人にきめ細やかな学習環境を提供するためにも欠かせないサポート体制なので職員もお互いに必要な場面でサポート要請ができる環境や信頼関係を大切にしていこう。</p>
2	<p>(2)きれいな学校</p> <p>★学習環境づくり                      ○ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた教室環境を整え、落ち着いた学習環境を保障する</p> <p>★安心・安全の確保                      ○老朽化した校舎内外の施設を見直し、改善計画を立て校内の環境整備を続ける。                      ○各教室や教材室、廊下、玄関のいたるところを整理整頓し、安全面にも気を配る。                      ○感染症等予防に対応した消毒、換気など予防対策に配慮する。</p>	<p>教室環境を基本的に統一し、すべての子供たちにとって学習に支障が出ないような、刺激量の少ない雰囲気共有している。</p> <p>特に空き教室を有効活用し、教室に持ち込む荷物の量を軽減することで落ち着いた環境を整えている。</p> <p>必要に応じて清潔で健康な学習環境を保持するための消毒や換気を継続している。</p> <p>校舎再生整備事業が始まり、少しずつ新しい環境が提供されてきている。</p>	<p>学校が再生整備されリニューアルされていく喜びを全校で共有し、主に清掃活動等を通して学校をきれいにする気持ちを育んでいく。加えて学校のものを大切に使う気持ちを育んでいく。</p> <p>川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェアと連携して、学校内で花を育て環境整備に貢献していく</p>

3	<p>ゆったりかまえる・たっぷりうごく (3)元気で明るい学校</p>	<p>★児童支援の充実 ○校内の支援体制づくりを継続発展する。 ○保護者支援も含め、児童が安心して過ごせる学級体制づくりをおこなう。 ○児童支援の情報交換を密に行い、学校全体で支えていく。</p>	<p>支援教育コーディネーターの迅速かつきめ細やかな対応が、校内の支援体制として機能している。保護者との連絡を密に取り、保護者に寄り添った対応を心がけてきた。学校として考える児童の成長につながるための方策も丁寧に提示してきた。必要に応じて外部機関とつなげたり、校内支援体制をさらに充実させたりしてきた。今年度の大きな成果として自己肯定感を問うアンケート結果が向上した。</p> <p>ケース会議が必要な場合には速やかに開催している。多面的な視点からの情報交換や具体的な児童支援について共有し、学校全体としての支援体制を強化した。</p> <p>キャリア在り方生き方教育においては、全体計画を意識した取組を進めてきた。SOSの出し方・受け止め方教育も継続して取り組み、その様子を学校公開日で広く発信することができた。</p>	<p>今年度もスクールカウンセラーが学校配置されていたが十分な活用がなされていたとは言い切れない。次年度もスクールカウンセラーを有効に活用していきたい。令和5年度は全教職員対象のカウンセラー面雁を計画・実施することができたので職員も含めた心のゆとりを大切にしていきたい。</p> <p>外国につながる児童の増加が見込まれるので国際教室の開設も視野に入れて早期対応に心がけていく。</p>
4		<p>★いじめ防止</p>	<p>職員対象には定期的にいじめ防止研修の実施を位置づけ 継続して内容の充実化を図ってきた。</p> <p>定期的な児童アンケートをGIGA端末等を活用して実施したことで安心して本音回答する児童が増えている。より一層SOSを求める児童に寄り添っていけるような体制を充実させたい。</p>	<p>普段から未然防止に努める。いじめの程度等に関わらず、いじめと思いき事案が発生した場合には躊躇なくケース会議を開催し、いじめの解消を図るべく即時対応していく。</p>
5		<p>★体力づくり・食育推進</p>	<p>外部講師を数多く招いての運動に親しむ活動や食育に関わる授業を展開することができた。プロスポーツに携わる講師の方々とのふれあいや、食品会社のエキスパートによる食に関するお話等、多方面からの取組を実施することができた。子供の側から見ても魅力的なきっかけづくりを大切にして、体力づくりや食育教育に継続して取り組んでいく。</p>	<p>申込制の事業もあるので、できるだけ継続してカリキュラムに取り入れられるように配慮していく。キラキラタイム等をさらに活用し、自分の体力に目が向くような取組を増やしていく。学校栄養士による食育についての授業もさらに充実させていく。</p>
6		<p>★働き方改革</p>	<p>継続して職員会議案件は、分掌担当が事前に教務会に諮る等の工夫により精選・効率化を図っている。</p> <p>教員用PCを有効活用し、普段からの伝達が定着してきた。</p> <p>教職員の休憩時間確保のため、休憩時間には会議を入れないことが定着した。</p> <p>事務支援員を有効活用し、スムーズに業務依頼する傾向がみられる。</p>	<p>特にクラス担任が「仕事のやりがい」と感じている子供とのふれあいや授業準備の時間を確保できるよう、引き続き努めていく。</p> <p>会議を開催する場合には、効率よく内容を事前通達し、大切な内容がしっかり話し合える時間を確保する。特に会議時間に留意する。</p>

7	(4)保護者や地域と力を合わせる学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>★学校評価・学校説明会・学校報告会</li> <li>★PTA・地域の協力</li> <li>★白幡台小学校コミュニティスクールを活用する</li> <li>★地域の寺子屋事業との連携</li> </ul>	<p>学校評価の考察を学校報告会で報告することができた。概ね好意的な評価をいただいている。</p> <p>○学校教育推進会議では委員の方々に対し、子ども達が主体となって一年間取り組んできた学校生活の様子を発信することができた。</p>	<p>コミュニティスクールがスタートした。学校運営に携わってくださる方々をより一層開かれた学校として学校にお招きし、取組を直に見ていただけるような機会を保障していく。学校としてもPTA活動はもちろんのこと、ダディサポーターの活躍ぶりや寺子屋の取組等の発信をより積極的に発信していく。</p>
---	--------------------	--	---	---

学校関係者の評価	学校運営のまとめ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いた雰囲気が学校全体に広がってきているのが印象的でした。</li> <li>・小規模校ならではの縦割り活動が、さらに自然な形で表れていることがよくわかった。</li> <li>・授業参観での児童たちの様子や学校の取組、アンケート結果からも重点テーマである「よい学習習慣と生活習慣」が身に付いていることを確認することができた。</li> <li>・子供たちが積極的に活動し、楽しみながら学び成長している様子を伺うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川崎市制100周年事業、学校e-ねサミット開催に関連して白幡台の地域の良さを発信していく。</li> <li>・今年度より始まった川崎市学習状況調査の経年結果の推移をしっかりと分析し、今後の学習指導に役立てていく。</li> <li>・本校の特徴として、学年が上がるにつれて「自分には得意なことがある」の回答結果が上昇していることがあげられる。学校全体としての取組の成果として、継続発展させていく。</li> </ul>